

OBOGの キャリアデザイン



南九州大学
人間発達学部 子ども教育学科 講師

磯部美良さん

愛知淑徳大学現代社会学部現代社会学科 第1回卒業(平成10年度卒業)。
愛知淑徳中学校に入学し、小学生の頃から学んでいた英語のスキルアップに
励む。中学2年生のときにアメリカ語学研修、高校2年生のときにカナダ長期
留学を経験。愛知淑徳大学現代社会学部で学ぶ中で社会的スキルなどに
関する発達心理学への関心が高まり、宮崎大学大学院へ進学し、さらに広島
大学大学院で博士号(心理学)を取得。明治大学・日本学術振興会特別研
究員SPD(平成20年3月まで)等を経て、現職。

自分の人生を生きる。 そのスタートラインとなった 愛知淑徳での自由な日々。

◆「自分が変わらなきゃ！」と
カナダで二歩を踏み出した

中学校から大学までの愛知淑徳での10年
間を振り返ると、とても自由な日々でした。
先生方が個性を認めて伸ばしてくださった
おかげで、自分の道を突き進む力、自信が育
まれたと感謝しています。特に、私にとって
ターニングポイントとなったのは、高校2年生
から3年生までの海外留学です。中学2年
生の夏にアメリカ語学研修を経験し「広い世
界へ飛び出したい」という思いを募らせていた
私を、担任の先生が応援し、1年間のカナダ
留学へと後押ししてくださったのです。しか
し、初めの3カ月間は現地の高校生と上手
くコミュニケーションができず、思い悩む毎
日。どん底まで沈みました。とことん自分と



カナダ留学では4家族にホームステイ。[どのホストファミリーとも本当の家族のように仲良くなりました。さらに、クラスメイトやロータリークラブの仲間など、すべての出会いが私の宝物です]

向き合う中で「私が変わらなきゃ、何も始まらない！」と心を奮立たせ、背筋を伸ばして「HELLO」と言うことから始めました。笑顔で上を向いたことから、カナダでの生活も、人生も、ガラッと変わりました。現地の友人やホストファミリーとの交流を楽しみ、英語や数学、演劇、心理学などの授業を意欲的に受講し、陸上部での活動にも励み…。毎日がきらきらと輝き出したのです。海外で壁を乗り越えたことにより、「生きる力」が鍛えられたのだと実感しています。

◆**大学院で心理学の研究に没頭し、
研究員、教員の道へ**

高校卒業後、新設されたばかりの愛知淑徳大学現代社会学部へ進学してからも、主体的に行動し続けました。最も力を注いだのが、ジェンダーに関する研究です。ジェンダー女性学研究会を立ち上げ、仲間や社会人の方と学外での研究発表にも取り組みました。また、障がいのある子どもたちや不登校の子どもたちのキャンプをサポートするボランティア活動にも励み、そこで、仲間関係の性差“いじめの中のジェンダー”など発達心理学への関心を高めていきました。

そして、大学院進学への準備を始めた頃、偶然手に取った学術書を読んで衝撃を受けました。いじめなど、子どもの仲間関係の問題を解決するためには、社会的スキルの育成が重要だという内容を目にして、「私が研究したいのはこれだ！」と強く惹かれたのです。現代社会学部の先生方の支えのもと、がむしゃらに勉強して、社会的スキルトレーニングの研究をおこなっていた宮崎大学大学院への道を拓きました。さらに研究への熱は高まるばかりで、広島大学大学院の博士課程を経て、日本学術振興会特別研究員SPDとして明治大学でも研究に熱中しました。

社会的スキルを磨けば、人は変われる。自分らしい人生を歩むことができる。そう信じて、南九州大学で教鞭を執る今も研究を続

◆**「とりあえず」ではなく、
今から自分の人生を始めよう**

現在は、南九州大学人間発達学部子ども教育学科の講師として、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭をめざす学生たちに発達心理学などを教えながら、「子どもの可能性を引き出す教育」。「保育者や教育者の役割」について共に考え深めています。学生たちへの指導で常に心がけているのは、「なぜ？」と問いかけ、思いを引き出すこと。厳しくもあたたかく指導してくださった愛知淑徳の先生方のように一人ひとりの個性を受けとめ、伸ばしていきたいと考えています。

そして今、教え子たちや、愛知淑徳で学ぶ後輩たちに伝えたいことは、「とりあえず」「はやめよう」ということ。「とりあえず進学しよう」「とりあえず資格や免許を取ろう」ではなく、「私はどう生きたいのか?」を突き詰めて考え、自分とまっすぐに向き合っている。とりあえず「ではなく、今から」あなたの人生をしっかりと生きてほしい。そう願っています。真剣な選択や決断を在校中・在学中から重ね、自分の可能性を引き出しましょう!



大学時代の恩師・國信潤子先生からお誘いを受け、大学院時代にマレーシアでのリーダーシップ・デベロップメント・プログラムに参加。成人教育に携わる世界各国の人々と交流し、向学心がさらに刺激された。右から2人目が磯部さん。